

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	ミュージックリテラシー 1
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回、資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員	加藤 邦明		実務経験の有無・職種	有・法務、制作、企画	
学習目的					
基本的にはコンサート制作に関する知識の習得を主としているコンサート・イベント科の学生に、著作権法の基本的な概要や、音楽業界における音楽著作権ビジネスの仕組みや実務内容、様々な職種が存在や現状のマーケット状況を理解して貰い、就職までに幅広い視野で自らの将来像をイメージし易くする事を目的としている。業界におけるビジネスの流れを理解することにより、就職活動において仕事選びを円滑に進めることができるようになる。また実例を提示した講義展開をすることにより、より実践的な内容を提供できる。スタッフとして守るべき事柄を理解することで、より現場で求められる社会人となれるよう、今の現場で起きている実際の事象を紹介しながら講義を行っていく。					
到達目標					
この科目で学んだ知識を元に、自らの将来像をリアルにイメージし、各学生の適性に合った就職先に就職できる事。及び、この学科で学んだ著作権法や著作権ビジネスの知識が、就職後の業務で役立つ事を目標としている。業界のビジネスの流れを理解し、デスク業務に従事することを目標としている学生はもちろん、技術職を目指す学生にも自らが携わった仕事に対しどのような権利が発生していて、自分が侵してはならないタブーがなんなのかを正しく理解し、信頼されるスタッフとなれるよう知識を正しく習得する。今世間で、権利についてどのような問題があるのかを時事を取り入れながら説明をし、身近な話題で学生の関心が得られるように、興味を持って聴講してくれる講義を目指す。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、音楽著作権ビジネスの基本となっている著作権法の基本を学生に理解して貰うと共に、実際のアーティストや楽曲がどのような過程を経てマーケットに出て、どのような権利処理で印税が発生しているのかを講義する。 実際に現場で活躍している作曲家やレコード会社のスタッフも臨時講師として招き、よりリアルに幅広い音楽業界の仕事や学生にイメージさせる事も検討している。授業の進行は、基本的には事前に用意した資料を学生に配布し進行する。				
注意点	この授業では、特に前半は著作権法の授業となる為、学生が飽きてしまわないように質問形式や自らの筆記にて授業に参加している意識を持たせる様に注意する。また、学生がよりリアルに音楽著作権ビジネスを理解できるように、実際に音楽業界で活躍している作曲家や、レコード会社のスタッフも臨時講師として招きディスカッション形式での授業も行うように工夫する。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画 (1回～15回)					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	著作権法の基礎知識①		何故、著作権法が必要なのか？著作権法の概要を理解する		
2回	著作権法の基礎知識②		著作権法の概要を理解する		
3回	著作権法の基礎知識③		著作権法の概要を理解する		
4回	プロダクションの仕事と、契約の種類		プロダクションにはどのような仕事があり、どのような契約が取り交わされるのかを理解する		
5回	レコード会社の仕事と、契約の種類		レコード会社にはどのような仕事があり、どのような契約が取り交わされるのかを理解する		
6回	音楽出版社の仕事と、契約の種類		音楽出版社にはどのような仕事があり、どのような契約が取り交わされるのかを理解する		
7回	著作権等管理団体について		JASRAC、NexToneの業務内容や、著作権管理方法の違いを理解する		
8回	音楽市場の推移		音楽ソフト市場や、ライブ市場の推移を理解する		
9回	音楽配信市場の現状①		音楽配信市場の現状を理解する		
10回	音楽配信市場の現状②		サービス別の出版や原盤の印税計算方法を理解する		
11回	グローバル化する音楽ビジネス①		世界の音楽市場に進出している日本人や、日本で活躍するアジア人の現状を理解する		
12回	グローバル化する音楽ビジネス②		世界の音楽市場を理解する		
13回	パネルディスカッション①		現在活躍している作曲家を招き、音楽ビジネスの現状と課題に関するディスカッションや、多種多様な仕事の存在を生の声で学生に伝える。		
14回	パネルディスカッション②		レコード会社やテレビ局等のスタッフを招き、音楽ビジネスの現状と課題に関するディスカッションや、多種多様な仕事の存在を、生の声で学生に伝える。		
15回	まとめ		半年間の総復習		